

守山駅東口再整備基本計画の策定に向けた全体スケジュールについて

当委員会では、令和4年度に作成した『守山駅東口再整備基本構想』をたたき台として、市民や駅利用者、地域住民、関係者などの皆様のご意見を踏まえながら、下記の項目について議論していただき、その結果を『守山駅東口再整備基本計画（素案）』としてとりまとめていきます。

とりまとめた『基本計画（素案）』はパブリックコメントを実施し市民の皆様に広くご意見をいただき、そのご意見を反映した『基本計画』を策定します。

■協 議（項目・内容）

1. 駅東口の現状・課題の整理

- ・駅東口の現状と課題について、市民・駅利用者アンケート調査と地域住民ワークショップ（9月～10月頃実施）結果を踏まえ整理します。

2. 駅東口の再整備の検討

①コンセプト

- ・駅東口に求められる役割と再整備のコンセプトを検討します。

②導入機能

- ・駅東口と駅西口周辺との機能分担・連携を検討した上で、駅東口（計画対象地区）に導入する機能（施設）を検討します。検討にあたっては、市民、駅利用者、地域住民の意見や、民間事業者ヒアリング調査（9月～10月頃実施）を含めた民間活力による施設立地の可能性検討の結果を踏まえます。

③都市機能ゾーニング、アクセス動線

- ・計画対象地区での導入機能の概ねの配置（ゾーニング）と、駅東口・西口周辺の連携を考慮した歩行者・自転車等のアクセス動線について検討します。

3. 交通結節機能施設の検討

①東口ロータリー

- ・東口ロータリーについて、交通事業者ヒアリング調査（11月頃実施）の結果や、市民、駅利用者、地域住民の意見等を踏まえて最適なロータリーの規模、形状、レイアウトなどを検討します。

②交流空間（憩いの広場）

- ・東口ロータリーに隣接する交流空間（憩いの広場）について、市民、駅利用者、地域住民の意見等を踏まえ利活用イメージを検討するとともに、整備内容（規模、形状など）を検討します。

③歩行者、自転車通行施設

- ・2-③で検討した歩行者・自転車動線を確保するための通行施設について、整備内容（位置、形状など）を検討します。

4. 整備計画図の確認

- ・上記 2、3 の検討結果を踏まえて、整備計画図としてとりまとめます。

5. 実現に向けた整備手法・整備スケジュールの確認

- ・整備計画図の実現に向けた整備手法や整備スケジュールについて整理します。

※ここに記載した項目は予定であり、議論を進めていくなかで必要となる項目については合わせて検討していきます。

■ スケジュール (予定) ※進捗状況によっては次年度も継続する場合があります。

